

注3

大学番号：私181

[平成24年度設置]

計画の区分：専攻設置又は課程変更

注1

届出

東京薬科大学大学院 薬学研究科 薬学専攻(D) (4年制)

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京薬科大学  
平成26年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 学務部 学務課

職名・氏名 部長・<sup>イマイ</sup>今井 <sup>タツオ</sup>達男

電話番号 042-676-7306

（夜間） 042-676-5111（代表）

F A X 042-676-4714

e-mail gakumu@toyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東京薬科大学

## (2) 大学名 東京薬科大学

## (3) 大学の位置

〒192-0392  
東京都八王子市堀之内1432-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ノザワ シュンタロウ) 野澤 俊太郎 (平成17年10月)	(イマニシ ノブユキ) 今西 信幸 (平成23年10月)	
学長	(ササツ マサノリ) 笹津 備規 (平成23年4月)		
学部長	(イトウ アキラ) 伊東 晃 (平成23年4月)	(アラマキ ユキヒコ) 新槇 幸彦 (平成25年4月)	定年退職 平成25年3月31日 (25)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。  
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
 平成26年度に報告する内容 → (26)  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻(博士課程) 博士(薬学)	4年	10人	40人	基礎となる学部等  薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 ( - ) [ - ]	-	10 ( - ) [ - ]	-	10 ( - ) [ - ]	-	0.86倍	
志願者数	10 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	9 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	9 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	4 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	8 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	4 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	4 ( 4 ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	0.8		0.4		1.4			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 8	[ - ] -	[ - ] 4	[ - ] -	[ - ] 14	[ - ] -	
2年次	/		[ - ] 8	[ - ] -	[ - ] 4	[ - ] -	
3年次	/		/		[ - ] 8	[ - ] -	
計	[ - ] 8	[ - ]	[ - ] 12	[ - ]	[ - ] 26	[ - ]	

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	8人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	4人	0人	平成25年度	0人	0人		0 %
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	14人	0人	平成26年度	0人	0人		0 %
合計	26人	0人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	英語特論	1前	2						1				兼1 非常勤
	医化学特論	1前 未開講 1前	2			4 3	3 4	2 3					オムニバス 履修希望者がいなかったため(25) 平成25年度担当教員変更 ・三浦剛教授就任 ・青山洋史講師が准教授に昇任 平成26年度担当教員変更 ・松本隆司准教授が教授に昇任
	臨床分析化学特論	1前 未開講 1前	2			2 0	2 3	1 2		1			オムニバス 履修希望者がいなかったため(24) 平成24年度担当教員変更 ・田代櫻子講師退職 履修希望者がいなかったため(25) 平成26年度担当教員変更 ・沼澤清一教授、横川彰明助教が追加 ・袴田秀樹准教授が教授に昇任
	生薬学特論	未開講 1前	2			1	1	2		2			オムニバス 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度担当教員変更 ・蘆田知代助教、松原侑希子助教が追加
	臨床生化学特論	未開講 1前	2			4 3	2 3	1 2					オムニバス 平成24年度担当教員昇任(24) ・儀住雄太郎助教が講師に昇任 平成25年度担当教員変更(25) ・高木敏夫准教授が教授に昇任・追加 ・内平昇講師所属変更 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度担当教員変更(26) ・佐藤雄准教授が教授に昇任 ・三浦真子講師が准教授に昇任・所属変更
	衛生化学特論	未開講 1前	2			2 1	2 3	2 3		2			オムニバス 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度担当教員変更 ・平野和也講師退職 ・藤原俊之教授就任 ・藤野智史助教、大沼友和助教が追加
	薬剤学特論	未開講 1前	2			3 2	2 3	0					オムニバス 履修希望者がいなかったため(24) 平成24年度担当教員変更 ・瀬田康生教授就任 ・富田幹雄准教授退職 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度担当教員変更 ・井上勝央教授が追加
	薬理学特論	未開講 1前	2			5 4	3 4	2 4		2			兼1 オムニバス 平成24年度担当教員変更(24) ・権原直彦准教授所属変更 平成25年度担当教員変更(25) ・高木敏夫准教授が教授に昇任 ・吉江幹治助教を追加 ・中村真希子助教を追加 ・生命科学部 遠部琢也教授兼担当追加 履修希望者がいなかったため(26)
	薬物治療学特論	未開講 1前	2			3 2	2 4	0		2			オムニバス 平成24年度担当教員変更(24) ・野口龍久准教授が教授に昇任 ・杉山雄太郎准教授就任 履修希望者がいなかったため(25) 平成25年度担当教員変更 ・中南秀得助教を追加 ・大友隆之助教を追加 履修希望者がいなかったため(26)
	専門科目	医薬品情報学特論	未開講 1前	2			4 3	1 2	1				オムニバス 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(26) 平成26年度担当教員変更 ・杉浦康敏准教授が教授に昇任

演習	1	2				28 21 18 16	19 23 16 25	28 27 25 22	1 2	平成24年度担当教員変更(24) ・ 瀧田直生教授就任 ・ 野口雅久准教授が教授に昇任 ・ 佐佐木太郎助教が講師に昇任 ・ 杉山龍太郎准教授就任 ・ 高山龍太郎助教、山崎有理助教 ・ 東海林健助教、多田登助教 ・ 瀧沢祐輔助教就任 ・ 橋本佳彦准教授所屬変更 ・ 佐藤弘人助教所屬変更 ・ 富田祥雄准教授退職 ・ 田代順子講師退職 平成25年度担当教員変更(25) ・ 井上博央教授、三浦剛教授就任 ・ 高木敬夫准教授が教授に昇任 ・ 青山洋史講師が准教授に昇任 ・ 輪島文明助教、田口晃弘助教就任 ・ 高橋浩司助教が所屬変更 ・ 藤田知代助手、高橋浩司助手、高橋真子助手が助教に昇任 ・ 内平昇講師所屬変更 ・ 山崎有理助教退職 平成26年度担当教員変更(26) ・ 藤原義之教授就任 ・ 林 秀樹講師就任 ・ 佐藤隆准教授、杉浦宗雄准教授、 神田秀樹准教授、松本隆司准教授が教授に昇任 ・ 三浦典子講師が准教授に昇任・所屬変更 ・ 今田啓介助教が講師に昇任・所屬変更 ・ 東海林健助教、中野秀将助教が講師に昇任 ・ 高橋浩司助教が所屬変更 ・ 松尾博幸子助手、三木雄一助手が助教に昇任 ・ 伊集院良祐助教、平島真一助教、山中大輔助教就任 ・ 橋本代教授、竹谷幸一教授、古田隆教授、 別府正雄教授、平野和也講師、香野真幸助教退職
実習	1	2				28 21 18 16	19 23 16 25	28 27 25 22	1 2	平成24年度担当教員変更(24) ・ 瀧田直生教授就任 ・ 野口雅久准教授が教授に昇任 ・ 佐佐木太郎助教が講師に昇任 ・ 杉山龍太郎准教授就任 ・ 高山龍太郎助教、山崎有理助教 ・ 東海林健助教、多田登助教 ・ 瀧沢祐輔助教就任 ・ 橋本佳彦准教授所屬変更 ・ 佐藤弘人助教所屬変更 ・ 富田祥雄准教授退職 ・ 田代順子講師退職 平成25年度担当教員変更(25) ・ 井上博央教授、三浦剛教授就任 ・ 高木敬夫准教授が教授に昇任 ・ 青山洋史講師が准教授に昇任 ・ 輪島文明助教、田口晃弘助教就任 ・ 高橋浩司助教、横山晴子助教が講師に昇任 ・ 藤田知代助手、高橋浩司助手、高橋真子助手が助教に昇任 ・ 内平昇講師所屬変更 ・ 山崎有理助教退職 平成26年度担当教員変更(26) ・ 藤原義之教授就任 ・ 林 秀樹講師就任 ・ 佐藤隆准教授、杉浦宗雄准教授、 神田秀樹准教授、松本隆司准教授が教授に昇任 ・ 三浦典子講師が准教授に昇任・所屬変更 ・ 今田啓介助教が講師に昇任・所屬変更 ・ 東海林健助教、中野秀将助教が講師に昇任 ・ 高橋浩司助教が所屬変更 ・ 松尾博幸子助手、三木雄一助手が助教に昇任 ・ 伊集院良祐助教、平島真一助教、山中大輔助教就任 ・ 橋本代教授、竹谷幸一教授、古田隆教授、 別府正雄教授、平野和也講師、香野真幸助教退職
課題研究	2~4	10				28 21 18 16	19 23 16 25	28 27 25 22	1 2	実習と同様

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	変更なし
4	9	0	13	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0 \quad (\text{未開講科目は「0」})$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	100,898㎡	0㎡	0㎡	100,898㎡				
	運動場用地	13,153㎡	0㎡	0㎡	13,153㎡				
	小 計	114,051㎡	0㎡	0㎡	114,051㎡				
	そ の 他	173,849㎡	0㎡	0㎡	173,849㎡				
	合 計	287,900㎡	0㎡	0㎡	287,900㎡				
(2) 校 舎	専 用	67,706㎡	0㎡	0㎡	67,706㎡				
		<del>65,582㎡</del>			<del>65,582㎡</del>				
	(	67,706㎡)	(	0㎡)	(	67,706㎡)			
	(	<del>65,582㎡</del> )	(	0㎡)	(	<del>65,582㎡</del> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	56室	37室	22室	1室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程			33 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]	
		冊	種	点	点	点			
	薬学研究科 薬学専攻博士課程	98,175 [33,803]		11,544 [10,531]	1,555				
		<del>62,791 [8,051]</del>	86 [0]	<del>19,166 [10,605]</del>	<del>1,501</del>	5,255			
		<del>63,271 [8,108]</del>	<del>72 [0]</del>	<del>18,418 [9,992]</del>	1,425	5,000	50,259		
		<del>61,531 [8,050]</del>	73 [0]	<del>12,834 [8,296]</del>	1,600	(4,900)	(50,259)		
		(98,175 [33,803])	( 86 [0])	(11,544 [10,531])	(1,555)				
		<del>(62,791 [8,051])</del>	( 72 [0])	<del>(19,166 [10,605])</del>	<del>(1,426)</del>				
		<del>(63,271 [8,108])</del>	<del>( 72 [0])</del>	<del>(18,418 [9,992])</del>	<del>(1,425)</del>				
<del>(61,531 [8,050])</del>		<del>( 73 [0])</del>	<del>(12,834 [8,296])</del>	<del>(1,600)</del>					
計	98,175 [33,803]	86 [0]	11,544 [10,531]	1,555	5,255	50,259			
	<del>62,791 [8,051]</del>	<del>72 [0]</del>	<del>19,166 [10,605]</del>	<del>1,501</del>					
	<del>63,271 [8,108]</del>	<del>72 [0]</del>	<del>18,418 [9,992]</del>	1,425	5,000	50,259			
	<del>61,531 [8,050]</del>	73 [0]	<del>12,834 [8,296]</del>	1,600	(4,900)	(50,259)			
	(98,175 [33,803])	( 86 [0])	(11,544 [10,531])	(1,555)					
	<del>(62,791 [8,051])</del>	( 72 [0])	<del>(19,166 [10,605])</del>	<del>(1,426)</del>					
	<del>(63,271 [8,108])</del>	<del>( 72 [0])</del>	<del>(18,418 [9,992])</del>	<del>(1,425)</del>					
	<del>(61,531 [8,050])</del>	<del>( 73 [0])</del>	<del>(12,834 [8,296])</del>	<del>(1,600)</del>					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,846㎡		650		120,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,507㎡		多目的グラウンド 1面		テニスコート 4面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの設備費を含む 大学全体
		教員1人当り研究費等	1,200千円	1,200千円	図書購入費	110,600千円	110,188千円	116,600千円	
		共同研究費等	11,000千円	11,000千円	設備購入費	50,600千円	50,600千円	50,600千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		790千円	440千円	440千円	440千円	千円	千円		
	1,260千円		882千円	882千円	882千円				
学生納付金以外の維持方法の概要									

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京薬科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
薬学部										
医療薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)	1.06	平成18年度			
医療薬物薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)	1.03	平成18年度			
医療衛生薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)	1.04	平成18年度			
生命科学部			3年次							
分子生命科学科	4	60 160	1 2	242	学士(生命科学)	1.09	平成6年度			分子生命科学科は、平成20年度より入学定員60名増
応用生命科学科						1.08				
環境ゲノム学科	4	60	1	242	学士(生命科学)	1.14 1.03 1.07	平成6年度			環境ゲノム学科は、平成19年度より従前の環境生命科学科から名称変更
生命医科学科	4	100	1	402	学士(生命科学)	1.12	平成25年度			平成25年度より分子生命科学科は入学定員、編入学定員変更 応用生命科学科は、従前の環境ゲノム学科から名称変更 生命医科学科を設置
薬学研究科						0.40 0.60				
薬学専攻博士課程	4	10	—	40	博士(薬学)	0.80	平成24年度			
薬学専攻博士後期課程	3	8	—	24	博士(薬学)	0.58	昭和40年度			平成24年度より学生募集停止
薬学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(薬科学)	1.20 1.40 2.00	平成22年度			
生命科学研究科						1.18 1.26				
生命科学専攻博士前期課程	2	65 40	—	130 80	博士(生命科学)	1.59 1.61	平成10年度			平成24年度より入学定員25名増(40→65)
生命科学専攻博士後期課程	3	10	—	30	博士(生命科学)	0.40 0.73	平成12年度			
大学の名称	〇〇短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻(博士課程)>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	野口 雅久 (57)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	野口 雅久 (57)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成24年4月昇任のため職名変更(24)
					専任	教授	瀬田 康生 (57)	平成24年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究	平成24年1月新規採用。 大学院教員(教授)に就任(24)
					専任	准教授	杉山 健太郎 (43)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成24年1月新規採用。 大学院教員(准教授)に就任(24)
専任	准教授	篠原 佳彦 (60)	平成24年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成24年4月篠原准教授所屬変更(24)
専任	准教授	富田 幹雄 (48)	平成24年4月	医薬品情報学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成24年3月富田准教授退職(24)
専任	助教	保住 建太郎 (40)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	講師	保住 建太郎 (40)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月昇任のため職名変更(24)
専任	講師	田代 櫻子 (49)	平成24年4月	臨床分析学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成24年3月田代講師退職(24)
					専任	助教	瀧沢 裕輔 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成23年11月助教昇任、 大学院教員(助教)に就任(24)
					専任	助教	山崎 有理 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成23年11月助教昇任、 大学院教員(助教)に就任(24) 退職(25)
					専任	助教	東海林 敦 (33)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(24)
					専任	助教	高山 健太郎 (28)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(24)
					専任	助教	多田 壘 (31)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(24)
専任	助教	佐藤 弘人 (43)	平成24年4月	演習 実習 課題研究			後任未定			平成23年9月佐藤助教所屬変更(24)
兼任	講師	Donna J McInnis (57)	平成24年4月	英語特論	兼任	講師	Micheal Riker (59)	平成24年4月	英語特論	平成24年4月担当講師変更
					専任	教授	三浦 剛 (45)	平成25年4月	医化学特論 演習 実習 課題研究	平成25年4月新規採用。 大学院教員(教授)に就任(25)
					専任	教授	井上 勝央 (40)	平成25年4月	演習 実習 課題研究	平成25年4月新規採用。 大学院教員(教授)に就任(25)
専任	准教授	高木 教夫 (44)	平成24年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	高木 教夫 (45)	平成25年4月	臨床生化学特論 薬理学特論 演習 実習 課題研究	平成25年4月昇任のため職名変更(25) 担当科目追加
専任	講師	青山 洋史 (37)	平成24年4月	医化学特論 演習 実習 課題研究	専任	准教授	青山 洋史 (38)	平成25年4月	医化学特論 演習 実習 課題研究	平成25年4月昇任のため職名変更(25)

専任	講師	内手 昇 (46)	平成24年4月	臨床生化学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成25年4月内手講師所属変更(25)
専任	助教	原 博 (41)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	講師	原 博 (42)	平成25年4月	演習 実習 課題研究	平成25年4月昇任のため職名変更(25)
専任	助教	横山 晴子 (39)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	講師	横山 晴子 (40)	平成25年4月	演習 実習 課題研究	平成25年4月昇任のため職名変更(25)
					専任	助教	蓮田 知代 (39)	平成24年7月	演習 実習 課題研究	平成24年7月助教昇任。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	高橋 浩司 (38)	平成24年7月	演習 実習 課題研究	平成24年7月助教昇任。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	高橋 葉子 (31)	平成24年10月	演習 実習 課題研究	平成24年10月助教昇任。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	田口 晃弘 (27)	平成25年4月	演習 実習 課題研究	平成25年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	輪島 丈明 (29)	平成25年4月	演習 実習 課題研究	平成25年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(25)
専任	助教	中村 真希子 (31)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	中村 真希子 (32)	平成25年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究	平成25年度担当科目追加(25)
専任	助教	吉江 幹浩 (33)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	吉江 幹浩 (34)	平成25年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究	平成25年度担当科目追加(25)
専任	助教	中南 秀将 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	中南 秀将 (31)	平成25年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成25年度担当科目追加(25)
専任	助教	大友 隆之 (33)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	大友 隆之 (34)	平成25年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成25年度担当科目追加(25)
					専任	教授	藤原 泰之 (45)	平成26年4月	衛生化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年4月新規採用。 大学院教員(教授)に就任(26)
専任	准教授	佐藤 隆 (46)	平成24年4月	臨床生化学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	佐藤 隆 (47)	平成26年4月	臨床生化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)
専任	准教授	杉浦 宗敏 (49)	平成24年4月	医薬品情報学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	杉浦 宗敏 (51)	平成26年4月	医薬品情報学特論 演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)
専任	准教授	袴田 秀樹 (44)	平成24年4月	臨床分析化学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	袴田 秀樹 (46)	平成26年4月	臨床分析化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)
専任	准教授	松本 隆司 (49)	平成24年4月	医化学特論 演習 実習 課題研究	専任	教授	松本 隆司 (51)	平成26年4月	医化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)
					専任	講師	林 秀樹 (43)	平成25年8月	演習 実習 課題研究	平成25年8月新規採用 大学院教員(講師)に就任(26)
専任	講師	三浦 典子 (46)	平成24年4月	臨床生化学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成26年4月昇任のため職名変更(26) 平成26年4月三浦准教授所属変更(26)
専任	助教	今田 啓介 (42)	平成24年4月	演習 実習 課題研究			後任未定			平成26年4月昇任のため職名変更(26) 平成26年4月今田講師所属変更(26)
専任	助教	東海林 敦 (33)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	講師	東海林 敦 (35)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)

専任	助教	中南 秀将 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	講師	中南 秀将 (32)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成26年4月昇任のため職名変更(26)
専任	助教	高橋 浩司 (38)	平成24年7月	演習 実習 課題研究			後任未定			平成26年4月薫輔助教所置変更(26)
					専任	助教	松尾 侑希子 (32)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成26年4月助教昇任。 大学院教員(助教)に就任(26)
					専任	助教	三木 雄一 (35)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成26年4月助教昇任。 大学院教員(助教)に就任(26)
					専任	助教	伊集院 良祐 (41)	平成25年7月	演習 実習 課題研究	平成25年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	平島 真一 (31)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成25年8月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(25)
					専任	助教	山中 大輔 (27)	平成26年4月	演習 実習 課題研究	平成26年4月新規採用。 大学院教員(助教)に就任(26)
					専任	教授	波澤 庸一 (64)	平成26年4月	臨床分析化学特 論 演習 実習 課題研究	平成26年度担当科目追加(26)
					専任	教授	井上 勝央 (41)	平成26年4月	薬剤学特論 演習 実習 課題研究	平成26年度担当科目追加(26)
専任	助教	横川 彰朋 (37)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	横川 彰朋 (39)	平成26年4月	臨床分析化学特 論 演習 実習 課題研究	平成26年度担当科目追加(26)
専任	助教	藤野 智史 (40)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	藤野 智史 (42)	平成26年4月	衛生化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年度担当科目追加(26)
専任	助教	大沼 友和 (34)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専任	助教	大沼 友和 (36)	平成26年4月	衛生化学特論 演習 実習 課題研究	平成26年度担当科目追加(26)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	定年規定の定 める定年年齢	定年を延長 している教員 数
16	62	78	27	61	88		
(25)	(63)	(88)	[11]	[△1]	[10]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	富田 幹雄	平成24年3月退職のため
2	講師	田代 櫻子	平成24年3月退職のため
3	助教	佐藤 弘人	平成23年9月所属変更のため
4	准教授	篠原 佳彦	平成24年4月所属変更のため
5	助教	山崎 有理	平成24年7月依願退職のため
6	講師	内手 昇	平成25年4月所属変更のため
7	教授	楠 文代	平成26年3月退職のため
8	教授	竹谷 孝一	平成26年3月退職のため
9	教授	古田 隆	平成26年3月退職のため
10	教授	別府 正敏	平成26年3月退職のため
11	講師	平野 和也	平成26年3月退職のため
12	助教	沓掛 真彦	平成26年3月退職のため
13	准教授	三浦 典子	平成26年4月所属変更のため
14	講師	今田 啓介	平成26年4月所属変更のため
15	助教	高橋 浩司	平成26年4月所属変更のため

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

各担当の授業科目は他の担当教員で対応可能なため、履修等への影響はない。  
 変更内容は、大学院シラバスにて学生へ周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (24年05月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年05月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (25年05月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年05月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <薬学研究科 薬学専攻 博士課程>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

大学に自己評価委員会あるいはFD委員会が設置されており、学部及び大学院の評価が行われている。加えて、毎年度大学院教員の教育及び研究業績の報告が行われる。大学院の場合、教員の資質向上のためのFD活動は教科担当教員間で下記の実施状況のような対応がなされており、質の高い大学院教育の実施に役立てられている。大学院独自の対応が必要な場合は、薬学研究科委員会及び薬学研究科幹事会にて審議されることとなる。薬学研究科委員会は、FD活動を含めた薬学専攻運営に関する議案審議と意見交換を行っている。また薬学研究科幹事会は、薬学専攻を含めた薬学研究科に関する、より**根幹にかかわる**根本的な問題について審議する。

###### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

薬学研究科委員会は、ほぼ月1～2回のペースで開催されている。委員会では、薬学専攻博士課程における教員の役割や、特論講義あるいは演習・実習における教育体制の**資質向上**に向け、協議している。委員会への教員の参加状況は良好で、常に2/3以上の**研究会員**が参加の上、協議されている。欠席の委員は、必ず委任状を提出している。また緊急の協議事項等が生じた場合、**委員長**は薬学事務課の協力の下、委員会を速やかに開催し、それが難しい場合にはメール会議等で迅速な対応が取れる体制が整っている。

###### c 委員会の審議事項等

**平成26年4月9日**  
薬学研究科委員会が**平成25年4月10日**に開催され、薬学専攻の本年度の講義科目担当者や内容、学生の専門課目選択状況、及び博士論文審査体制等に関する内容が審議された。当該大学院の特色や育成する人材の目標、あるいは博士課程終了後の連絡等を今後の志望者に強くアピールすると共に、教員の質の向上を常に行っている**ことによる**大学院教育水準の高さを広報することについては、設置当初の目標通りに**継続して**遂行していく。



## ② 実施状況

### a 実施内容

に対する

- ・講義内容や担当教員への意見等を学生から収集するため、アンケートあるいは意見聴取を担当教員が各特論で実施している。講義内容の理解度を判定するため、試験を実施する講義もある。専門科目の特論講義は複数の教員が担当するため、担当教員間で特論の分担や効果的な教育方法について意見交換を行っている、調整をしている。

- ・特論講義は公開されており、大学院生以外にも教員及び大学院研究生等の自由な聴講が可能である。特に、外来講師の講義の際には、学内教員及び大学院生全員にe-mailで講師紹介、及びその講義の概要を告知する等の周知方法を採用している。外来講師から講義担当教室の教員が意見を伺い、科目担当教員の意見交換の際にその内容が伝えられ講義改善に反映されるようにしている。

### b 実施方法

- ・大学院特論の講義に関しては、一連の講義終了後にアンケート、課題レポートでの感想及び意見の収集や期末試験なども実施される。実施方法は科目担当教員の合議により決定されている。さらに、次年度カリキュラム編成での科目担当教員会議で、講義内容及び実施方法の検討・改善を図る。
- ・大学院生の所属教室での演習及び実習については、指導教員が大学院生からの意見を聴取し、適宜指導教員間での意見交換を行い、指導内容の改善を行う。また、特論については講義担当教員に学生及び感想を伝えながら、それに対して担当教員が適宜、修正あるいは工夫を行っている。
- ・大学院修了時には、学位論文公開審査(発表会)、及び研究科委員会メンバーによる学位申請者への口頭試問(最終試験)が実施される。発表会の審査員及び進行は所属教室以外の教員が担当し、所属教室以外の教員及び大学院生に学外研究者を含めた聴講者からの研究内容に関する質疑応答が行われる。担当教員は、それらの意見を基に研究内容を確認し進展させる。
- ・教員は、年度毎に活動報告書を作成している。活動報告書では講義及び研究活動について報告することとなっており、これら項目での反省点及びその改善点についても記載されている。大学院教育に関して特に、研究活動の論文及び学会発表は、薬学部年報編集委員会が編集する研究年報が学内教員、大学院生、国内外の大学図書館、製薬企業等に配付され公表している。

れ公表されている。

### c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・前述したように、講義アンケート及び試験等に関しては前期終了後に実施し、その結果の集計時に担当教科毎に開催して教員の資質向上を図っている。
- ・教員間の意見交換に関しては、年度末の次年度シラバス作成時に開催する予定である。
- ・教員活動成果報告書及び研究年報の作成は、毎年全教員の協力の下に行われている。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各特論講義及び演習、実習を受けた学生からの感想や意見を基に、授業形式、配布資料、パワーポイント、学外講師の選抜等に関する改善を行う。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

行っている。

本年5月現在、特論、英語講義及び演習・実習を実施中である。特論と英語講義に対する学生からの意見、感想等は7月の最終講義終了後に、学生にアンケートを行うことで実施する予定である。また、演習・実習に関する意見や感想は、1年次終了時にやはりアンケートによって収集する。なお、臨床薬学コースの学生は、後期に東京医科大学

どのような診療科

にて臨床研修(講義)を行うことが可能なため、これに参加する医師やそのような診療科で演習・実習を行いたいかにアンケートを実施する。この結果を所属教室の教員や東京医科大学の教員に伝え、その内容を検討しながら、学生の演習・実習の指導体制を強化していく。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

研究科委員会にて協議された内容は、議事録として研究科委員会委員を通じ、全教員に到達される。学生から収集したアンケート内容は、後期開始あるいは2年次の前期開始時に文書にて学生に公開する予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成25年9月 10名 10名  
平成24年7月に実施した入学試験にて、募集定員10名に対し2名が受験し全員が合格、その後受験者2名の手続きを完了した。平成25年12月 社会人を対象とした募集を行い、募集定員若干名に対して1名が受験し、1名を合格とした。

平成25年12月 社会人を対象とした募集を行い、募集定員若干名に対して1名が受験し、1名を合格とした。  
また、平成26年3月にも社会人を対象とした募集を行い、募集定員若干名に対して3名が受験し、3名を合格とした。

第3期生 14名 平成25年度  
以上、本年度は合計4名の薬学研究科薬学専攻博士課程第2期生が誕生した。入学者4名の内訳は、平成24年度薬学部10名、薬学部4年制を卒業後または、薬学研究科薬学専攻博士前期課程(修士課程)を終了後、社会人として卒業生3名、他大学4年生薬学部を卒業後大学院薬学研究科生命薬化学専攻修士課程を卒業した者1名であった。就労しているもの4名であった。

いずれの入学者も、当該大学院で特に医療に関連の深い薬学研究分野に関する勉学と研究を更に発展させるという向上心からの進学であった。以上の結果は、臨床への応用あるいは臨床に直結した薬学分野の研究を目的に設置された本大学院の目的・理念に合致する人材を獲得できたと評価できる。これらの学生に対し、平成25年4月9日から平成26年4月8日 社会人学生

大学院特論講義、演習及び実習が開始された。特論内容は、薬学出身の学生とその他理系大学出身の学生のいずれに対しても、学生が将来臨床にフィードバックする研究を遂行できるよう、基礎薬学関連講義に加え臨床現場で薬剤師あるいは医師として活躍した経験のある講師の講義を取り入れている。また、後期から行われる臨床現場での演習・実習に向け、東京医科大学の医師・薬剤師との協議に基づく指導体制が整っている。以上の教育内容は、本大学院設置の趣旨・目的を達成するための中心的カリキュラムであり、これらの当初の目標通り進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

大学基準協会の相互評価にて学部及び大学院の評価が行われる。本点検・評価の認定期間は平成19年度～平成25年度であるため、平成24年度までの自己点検・評価活動を取り纏め、昨年度 今年度 大学基準協会へ申請を行う。公表については平成26年度を予定している。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行する。その内容の公表については、大学ホームページ上での公開等を含めて、今後検討される予定である。

③ 認証評価を受ける計画

昨年度、大学基準協会の評価を受けた

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 26 年 9 月 1 日 )